

第10単元 およその面積と体積A

問題番号	配点	解 答(許容)	評価規準	つまずきと指導の手だて	
①	①	5	三角形(二等辺三角形)	[知技]概形をとらえ、基本図形の面積公式や体積公式を適用しておよその面積や体積を求めることができる。	意図的に不必要な長さも示してあるので、底辺と高さをきちんととらえさせる。
	②	20 (各10)	式 $8 \times 10 \div 2 = 40$ 答 (約)40m <sup>2</sup>		
②	①	5	平行四辺形		示された長さが直方体や円柱の何にあたるかを確認する。
	②	20 (各10)	式 $100 \times 60 = 6000$ 答 (約)6000m <sup>2</sup>		
③	①	5	直方体		
	②	20 (各10)	式 $13 \times 18 \times 4 = 936$ 答 (約)936cm <sup>3</sup>		
④	①	5	円柱		
	②	20 (各10)	式 $3 \times 3 \times 3.14 \times 12 = 339.12$ 答 (約)339cm <sup>3</sup> (339.12cm <sup>3</sup> )		

第10単元 およその面積と体積B

問題番号	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	① イ ② オ ③ エ ④ ク ⑤ ア ⑥ イ ⑦ ウ ⑧ カ ⑨ キ	[思判表]およその面積を求めるために、概形をとらえ、面積の求め方が分かっている図形を組み合わせた形としてみて考えている。	どこを底辺や高さにとらえたか確認する。

▶ 思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	6問以上	5～3問	2～0問

▶ 主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容 記述内容	3項目とも意欲的であり、感想とさらに学習したいことの2つの観点で書かれている。	3項目ともおおむね意欲的であり、感想とさらに学習したいことのどちらかの観点で書かれている。	どの項目も消極的であり、感想やさらに学習したいことが書かれていない。